

大分大学医学部 卒業認定・学位授与の方針 (DP:ディプロマ・ポリシー)

【医学科】

患者の立場を理解した全人的医療ができるよう、豊かな教養と人間性、高度の学識、生涯学習能力、国際的視野を備えた人材を育成することを目的として実践的な医学教育を行う。本学科は、この教育目標を踏まえ、学士課程を通じて以下に示す資質、知識や能力を修得した学生に対して、学位を授与する。

1. 専門的知識・技能の活用

疾病に関する基礎的・臨床的知識を身につけ、疾病予防や診断、治療方法の改善、原因や病態の解明・向上に貢献できる。

2. コミュニケーション能力

コミュニケーション能力と協調性並びに指導力を備え、チーム医療の実践ができる。

3. 創造的問題解決力

科学的根拠に基づいた論理的思考と科学的に実証する方法論を身につけている。

4. 社会的責務と倫理

幅広い教養と高い倫理観・責任感を備え、個人の生命や健康、権利、尊厳を守り全人的医療が行える。

5. 地域発展・人類福祉への貢献

広い視野から医療や保健・福祉の問題を理解し、地域社会はもとより国際的にも活躍、貢献できる。

6. 生涯学習力

問題発見・解決型の効果的な自学自習の習慣を実践でき、最新の医学知識や技術を習得するための生涯学習能力を備える。

大分大学医学部 教育課程編成・実施の方針（CP:カリキュラムポリシー）

【医学科】

医学科は、広く教養を学び知識の調和を保ち、総合的、自主的な判断力を養い、厳しい訓練を通じて人間の生命の尊厳に対する自覚を培い、21 世紀の医学と医療の担い手として6年間で知識と技術を習得するために、以下の方針で教育課程を編成・実施する。

1. 「教養教育」では、医師としての基本的な教養や倫理観、豊かな人間性を育てる。国際的にも活躍できるよう6年間継続した医学英語教育を実施する。
2. 「専門教育」では、「医学教育モデル・コア・カリキュラム」を完全実施出来るカリキュラムを構築する。「基礎医学」では医学に必要な基礎的知識と技能を身に付け、「臓器別コース」では基礎と臨床を機能別に統合したカリキュラムを導入し、問題解決型学習法（PBL、チュートリアル教育）や、チーム基盤型学習（TBL）を取り入れ、問題解決能力や自己学習習慣の習得を図る。
3. 「研究室配属」では、本学あるいは国内外の研究施設で研究に従事し、科学的論理的思考やリサーチマインドを涵養する。
4. 「臨床実習前導入教育」では、臨床実習にとって必要な診察手技、診断学などの講義・実習を行い、学習によって到達した知識、技能を医療系大学間共用試験（CBT、OSCE）で検証した上で、総括的評価に合格した学生が臨床実習に参画できることとする。
5. 「臨床実習」では、診療参加型実習（クリニカル・クラークシップ）を実施する。さらに、地域医療に貢献する能力を身につけることを目的とした地域医療学実習、救急車同乗実習を行う。